

🐼 昨日、二月三日は、ひな祭り。妹さんやお姉さんがいるお家では、ひな人形を飾っていたという人もいないでしょうか。ここでクイズです。一階の教員室前に飾ってあるひな人形のうち、男の人はどちらに座っていたでしょう？「どちら」と言われても答え方に困りそうなので、先に話をします。一・二年生には頭がこんがりそうな話をするので、よく聞いてください。

今私は、右手でグー、左手でパーを出していますね。私からすると、私の右がグー。左がパー。君たちの方から見ると左がグーで、右がパーとなっていますね。君たちの方から見た言い方を「向かって」と言います。私の右手、つまりグーは、君たちから言う「向かって左」。私の左手、パーは、君たちから言う「向かって右」と言います。

中国の古い時代、秦の始皇帝や項羽と劉邦たちより前の時代は、馬車に乗るときや戦争に関する場合は例外として「左上位」でしたが、「漢」の時代に「右上位」で統一。その後、日本の奈良時代（奈良の大仏さんが造られた時代）や平安時代（藤原道長さんが活躍した時代）は、中国では「唐」や「宋」と呼ばれた時代で「左上位」に変わります。

唐の影響を受けた日本も「左上位」を採用。唐の時代皇帝は宮殿で、北（極星）を背に南面する（南に向かって座る）のを良しとした

ので、日本でも天皇は御所（天皇の住まい）で、南に向かって座りました。高学年の人は分かると思いますが、天皇が南に向いているということは、当然背中が北。左手の方は東で、右手の方は西になります。太陽は東から昇り、西に沈むので、昇る方の東、つまり左が上位ということになります。

ですから、右大臣より左大臣の方が上。京都の伝統的なひな飾りは、人形側からすると左側に男性、右側に女性を飾ります。君たちの方から言う「向かって右が男性、向かって左が女性」ということです。



さて、一階教員室前のひな人形、男の人は向かってどちらに座っていましたか。グー、パー？そう、向かって左が正解です。関東びなは向かって左に男性の人形を飾り、京飾りとは逆になるという訳です。

神社で神主さんが神様にお供えするためには階段を上がるときは、先ず左足で上がり、右足をつける。この繰り返しで階段を上がるそうです。降りるときは逆に、右足から降りて左足をつける。この繰り返しで降りるのだそうです。「左上位」ということなのですね。オヤヤこしいことに、西洋は「右上位」。オ

リンピックの表彰で一位の人は真ん中。一位の人の右側（向かって左）が二位。一位の人の左側（向かって右）が三位となります。

ローマ時代、家の中に入るのに右足から入ることを「吉」として、貴族の家では、お客さんが右足から入るように、玄関先に召使いをおいて監視させていたのだそう。

国同士のお付き合いのルールを国際儀礼（プロトコール）と言います。プロトコールでも右上位と決まっています。たとえば、どこの国の大切なお客様が日本にみえるとその国の国旗を飾ります。その国の国旗と日本の国旗を並べて飾るとき、旗の方からすると左が日本。右がお客様の国の旗となります。向かって左がお客様の旗。向かって右が日本の国旗ということ。

日本の国旗の右側にお客様の国旗を並べる（右上位）で、相手の国に敬意を表しているのです。

右だ左だ。しかも「向かって」見るのかそうでないのか、ゴチャゴチャしているし、どちらが上だ下だと、あまり感じのよい話ではないかもしれません。家に帰って勝手にひな人形を並び替えたりしないで、お家のルールに従ってくださいね。一応プロトコールについてもお話ししました。「右も左も分かりません」という人にはなりませんように。

（立教小学校校長 田代 正行）